

## アジア・ゼロエミッション共同体 共同声明(仮訳)

東京、2023 年 3 月 4 日

我々、オーストラリア、ブルネイ、カンボジア、インドネシア、日本、ラオス、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ及びベトナムの大臣は、2023 年 3 月 4 日に東京でアジア・ゼロエミッション共同体(AZEC)閣僚会合を開催し、AZEC のパートナーとして、脱炭素化の課題と機会に関する我々の考えと見解を共有し、長年培ってきた相互の信頼を活用して、アジア地域においてカーボンニュートラル／ネット・ゼロ・エミッションに向け、クリーン、持続可能、公正、経済的及び包括的なエネルギー移行を加速することに共同してコミットした。

我々は、アジア地域におけるエネルギー・トランジションの加速が、世界の平均気温の上昇を産業革命前より 2°Cより十分に低く抑え、産業革命前より 1.5°Cに抑える努力を追求することを含むパリ協定の目標達成の鍵となることを認識し、パリ協定が、共通だが差異ある責任の原則及び異なる国情に照らしたそれぞれの能力を反映させて実施されることを想起する。我々は、さらに、エネルギー・トランジションは、経済成長によりエネルギー需要が急速に増加しているアジア地域を含め、各国の実情に応じた多様で現実的な道筋を可能となるべきことを認識する。

我々は、以下の共通認識をシェアし、AZEC パートナーとして協働する。

- 気候変動への対処を世界共通の課題として認識し、エネルギー安全保障を確保しつつ、カーボンニュートラル／ネット・ゼロ・エミッションに向けた協力を推進することが重要であること。
- アジアが引き続き世界の経済成長及びエネルギー需要拡大の原動力であると認識し、特にイノベーションを通じ、経済成長及び経済強靱性と両立する形でトランジションを進めることが重要であること。
- 産業構造、社会的背景、地理的条件、発展の段階とペースなどの、各国の状況に応じて、カーボンニュートラル／ネット・ゼロ・エミッションに向け、多様で現実的な道筋が存在すること及びそのような道筋を設計し実行に移すために多様なエネルギー源と技術を活用することが重要であること。

これらの認識と、それぞれの国の政策や法律に基づき、我々は AZEC プラットフォームを通じて、以下のような分野で情報を共有し、議論し、行動する。

- 省エネルギー、再生可能エネルギー、水素、アンモニア、エネルギー貯蔵、バイオエネルギー、炭素回収・利用・貯蔵(CCUS)などの脱炭素戦略・計画・ビジネス・技術の開発・実証・展開。

- 電力網を含む脱炭素インフラへの投資と、重要鉱物・材料を含むクリーンエネルギーサプライチェーンの開発に対する資金支援。
- 脱炭素技術の標準の開発、調和及び相互運用性の確保、こうした分野の人材の強化。

AZEC は、原則として、年 1 回の閣僚会合と定期的な高級実務者会合 (SOM) を開催する。また、ASEAN・東アジア経済研究所 (ERIA)、国際エネルギー機関 (IEA)、国際再生可能エネルギー機関 (IRENA)、ASEAN エネルギーセンター (ACE) 等の国際機関・組織と必要に応じて連携していく。

我々は、ここに記載された内容は法的拘束力を持たないことを理解した上で、相互に自発的に協力する。